

令和3年度 自己評価項目

1. 学校の教育目標

本校の教育理念に基づき、きめ細かい指導のもと社会人としての資質の向上と幅広く教養と常識を身に付けたバランス感覚のある人材輩出を目標とする。

2. 本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

- (1)教育(教職員として)の質の向上
- (2)人間力の育成・演習・実践の強化
- (3)地域の一員・住民であることを意識し目的に合わせた地域力の活用

3. 自己評価項目の達成及び取組状況

4:適切 3:ほぼ適切 2:やや不適切 1:不適切

令和3年度

(1) 教育理念・教育目標

	評価項目	自己評価
1	学校の教育理念・目的・育成人材像は明文化されているか。	4
2	学生・教職員に対して、学校の教育理念等の周知徹底が図られているか。	4
3	社会のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか。	4
4	学校における職業教育の特色は明確になっているか。	4
5	学外(保護者含)に対して、学校の教育理念等が公開されているか。	4
	取組と課題 今後の改善方策 教育理念をはじめとして、教育目標、教育内容から取得可能資格などはホームページや学校案内に記載され、入学前から学生、保護者をはじめ、広く一般に公開されている。また、入学後には改めて教育理念をはじめとする教育内容の詳細が記載された学生ハンドブックによって更に深く理解させることができている。また、令和3年度は、入学式卒業式を実施し、学校の教育理念等を直接お伝えできた。	

(2) 学校運営

	評価項目	自己評価
1	学校の目的等に沿った運営方針が策定されているか。	4
2	運営方針に沿った事業計画が策定されているか。	4
3	運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか。	4
5	運営会議(教職員会議・教員会議等)が定期的開催されているか。	4
6	組織の構成員のそれぞれの職務分掌が文書化されているか。	4
7	人事、給与に関する規定等は整備されているか。	4
8	賃金制度・昇進・昇格制度は文書化されているか。	4
9	個人情報保護規程が文書化されているか。	4
10	業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか。	4
11	教職員の健康診断がされているか。	4
12	教育活動に関する情報公開が適切になされているか。	4
13	職業実践専門課程専攻分野における企業・団体等と連携した事業及び教員の研修はできているか	4
14	情報システム化等により業務の効率化が図られているか	3
	取組と課題 今後の改善方策 更なる業務効率化と在宅勤務可能な体制を整えるために、校内のコンピュータと複合機を刷新システムを構築中である。	

(3) 教育活動

	評価項目	自己評価
1	教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか。	4
2	教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科としての修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確になされているか。	4
3	カリキュラムは体系的に編成されているか。	4
4	キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか。	4
5	業界団体との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか。	4
6	産学連携によるインターンシップが体系的に位置づけられているか。	4
7	学生・保護者等によるアンケートにより授業評価の実施・評価体制があるか。	4
8	職業に関する外部関係者からの評価を取り入れているか。	4
9	成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか。	4
10	資格取得の指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか。	4
11	人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか。	4
12	関連分野における業界等との連携において優れた教員の提供先を確保するなどマネジメントが行われているか。	3
13	関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか。	3
14	職員の能力開発のための研修等が行われているか。	3
15	教育内容の改善を図るため教職員と非常勤講師等との定期的な情報交換を行っているか	3
取組と課題 今後の改善方策	令和3年度は自己評価の項目を若干変更して評価している。授業の評価については例年卒業生とその保護者にアンケートを行い、その結果を各教員にフィードバックしている。また、留学生のインターンシップ先として新たな企業様(ホテル業)と提携して行った。教員の研修については国際化についての研修は行えなかったのでぜひ今年度行いたい。非常勤講師との連携については各担当の先生が情報交換を行ってきたが、今年度は学期初めごとに情報交換等を行っていきたい。	

(4) 学修成果

	評価項目	自己評価
1	就職率の向上が図られているか。	4
2	資格取得率の向上・資格に関する目標が図られているか。	3
3	退学率の低減が図られているか。	4
4	卒業生・在校生の社会的活躍及び評価を把握しているか。	3
取組と課題 今後の改善方策	就職は昨年度に引き続きコロナ禍の中での就職活動であったが、98%の就職率を達成することができた。WEB面接等に対する対策も確立できるようになった。自己評価項目に資格に対する目標を追加した。全国合格率よりも高いか否かについては把握しているが、今後は検定前に合格目標を設定したい。最近の卒業生の在籍状態(退職率)については調査を行う予定である。	

(5) 学生支援

	評価項目	自己評価
1	進路・就職に関する支援体制は整備されているか。	4
2	学校案内等には育成人材像が明示されているか。	4
3	学校案内等には学費・教材費等が明示されているか。	4
4	学校案内等には選抜方法が明示されているか。	4
5	学校説明会等による情報提供は行われているか。	4
6	入学予定者に対し学習指導・支援等が行われているか。	4
7	入学者に対し学習、学生生活のためのオリエンテーションは行われているか。	4
8	学生相談に関する体制(面談)は整備されているか。	4
9	学生に対する経済的な支援体制は整備されているか。	4
10	課外活動に対する支援体制は整備されているか。	4
11	学生の生活環境への支援は行われているか。	4
12	保護者と適切に連携しているか。	4
13	卒業生への支援体制はあるか。	3
14	社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか。	4
15	ハローワーク等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	3
16	退学率の低減・中途退学の原因・傾向等を把握しているか	3
取組と課題 今後の改善方策		令和3年度は入学式に保護者会は行うことができなかったが、令和4年度は入学式と保護者会と同時開催することができた。また例年通り各種奨学金の紹介等を行い、学生に対する経済的支援は行っている。キャリア教育に関しては現状できていないが将来はハローワーク等と提携しキャリア教育の実施も考えたい。今年度から退学についての項目を新設した。悩みが多い学生が多く、精神面のフォローが課題である。

(6) 教育環境

	評価項目	自己評価
1	施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか。	4
2	学内外の実習施設、インターンシップ等について十分な教育体制を整備しているか。	4
3	防災に対する体制は整備されているか。	4
4	学内の整理整頓清掃に関する定期的なチェックが行われているか	4
取組と課題 今後の改善方策		法令に従って必要な施設設備の点検・修理修繕等行っている。また火災避難訓練や地震防災訓練などを通じて防災意識を高めている。また、毎日の清掃と教員による確認、定期的な大掃除も実施している。

(7) 学生募集

	評価項目	自己評価
1	高等学校等に対する情報提供等の取組を行っているか。	3
2	学生募集活動は、適正に行われているか。	4
3	学生募集活動において、資格取得・就職状況等の情報は正確に伝えられて	4
取組と課題 今後の改善方策		高校訪問などは前年同様コロナ禍による訪問規制などがあり十分に行うことはできなかったが、規制も緩和されつつあり今後は強化していきたい。新たに学校説明動画をまとめた資料を作成し配布を行った。これにより学校案内などの資料やオンラインによる説明にプラスして、動画でいつでも本校の説明をみることができるようになり、多方面から情報を提供できる環境ができたと感じる。

(8) 財務

	評価項目	自己評価
1	中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか。	4
2	予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか。	4
3	財務について会計監査が妥当に行われているか。	4
4	財務情報公開の体制整備はできているか。	4
取組と課題 今後の改善方策	少子化による日本人学生の減少傾向は今後も進むが、今後は留学生の入学人数増加を見込み、財務基盤は安定している。	

(9) 法令遵守

	評価項目	自己評価
1	法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか。	4
2	個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか。	4
3	自己評価の実施と問題点の改善と行っているか。	4
4	自己評価結果を公開しているか。	4
取組と課題 今後の改善方策	自己評価の公開は継続して行われている。学校として適正な運営を常に心掛け、評価項目の適正維持を図っている。	

(10) 社会貢献・地域貢献

	評価項目	自己評価
1	学生のボランティア活動を奨励、支援しているか。	4
2	社会的活動(地域活動・ボランティア等)を評価しているか。	3
3	地域に対する公開講座等を積極的に実施しているか。	3
取組と課題 今後の改善方策	令和3年度も昨年度に引き続きボランティアには学生に広く告知している。また、地元の商店街の市場において販売活動を学生自ら企画・運営を行った。留学生も地元企業のイベントに協力を行った。地域研究の授業において学生の保護者・関係企業等を招待して学生の研究成果の発表を行った。地域活動については学生の行動・レポート等により評価を行っている。公開講座はまだ行っていないが引き続き地元商店街等とは連携していきたい。	

(11) 国際交流

	評価項目	自己評価
1	受入れ・派遣、在籍管理等について適切な手続き等がとられているか。	4
2	留学生の学習・生活指導等について学内の適切な体制が整備されている	4
3	国際交流が行われているか	3
取組と課題 今後の改善方策	令和3年度は日本人学生と留学生が共同で地元企業のイベント等に積極的に貢献した。また留学生に有志による観光客に対するおもてなしを行った。また、岩手県内の留学生の団体に優秀な作品を提出した。今年度は日本人と留学生の合同授業を行っており今後も国際交流は強化していく。	

4. 本年度の総合的な自己評価結果と今後の課題

令和3年度については、職業実践専門課程における実践事業の他に、新たな企業と連携して実践授業を行うことができ、その成果物としても満足するものができた。また、留学生に対しても新たな企業との連携ができ、職業体験をすることができた。WEBによる就職活動等は2年目であることもありスムーズにできたと思われる。今年度は自己評価で課題として挙げた各項目の実施をしていきたい。